

Recycle our old clothes for the Sustainable Environment!

SEIG Fashion Revolution 2022

聖学院大学サステナビリティ推進センター(SSC)開設記念イベント

～好きなこと×SDGs～

2022.11.16(wed)10:30~14:30

@聖学院大学チャペル(オンライン同時配信あり)

Time Table

- 10:30- 公開講演会「大量廃棄社会の、その先へ」
- 12:00 仲村和代 朝日新聞社デジタル機動報道部次長
- 12:20- 古着ファッションショー
- 12:50 聖学院大学、関東学院大学、青山学院大学の学生たちが自身の大学で回収した古着でファッションショー
- 13:00- 古着リサイクル
- 14:30 リサイクル会場に学生たちが回収した古着を展示お持ち帰り&再利用していただけたら嬉しいです!

Public Lecture

FASHION SHOW



イベントはどなたでも
ご参加いただけます！

イベント申し込みサイト▶

[https://www.seigakuin.jp/
events/2022116ssc/](https://www.seigakuin.jp/events/2022116ssc/)



事前の登録を
お願いします

2015年に打ち出された「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、達成期限である2030年に向けて、折り返し地点に差しかかっています。2020年から2030年は「行動の10年」とされており、より幅広く活発な行動が求められています。学校法人聖学院も、2018年に策定した「聖学院ビジョン」の中核にSDGsを据え、翌年からSDGs達成に向けたプロジェクトを実施してきました。そして、本年4月に開設された聖学院大学サステナビリティ推進センター(SSC)は、2030年とさらに先を見据え、「持続可能な社会と世界」を形成していくために、全学的な取り組みを加速させていきます。

SSC開設記念イベント「SEIG Fashion Revolution 2022 ～好きなこと×SDGs～」※は、そのための「起爆剤」です。誰もが必要とする衣服、古くから人々の心をとらえてきたファッション！しかし、近年はファッション産業の問題も多く指摘されています。いま求められている「サステナブル・ファッション」とは何か？皆様とともにファッションにまつわる問題や課題を考え、より多くの方々の行動と協働を誘発し、活性化するような機会にしたいと願っております。是非とも、ご参加ください。

※Fashion Revolutionとは？

ファッション産業をフェアで安全な産業にしていこうとめざすムーブメントです。発端は2013年4月24日、バングラデシュの縫製工場が複数入居していたラナプラザ・ビルの崩落事故です。死者1000人以上、負傷者2500人以上という痛ましい事故でした。しかも、前日にビルに亀裂が見つかったのに操業を止めず、事故が起こってしまったのです。この事故を契機に、短い納期や工賃の圧迫など、ファッション産業の構造的な問題が浮き彫りとなりました。また、発注側のブランドが工場の状況を把握していなかったため、ファッション産業のサプライチェーンの不透明さが問題視され、世界中の消費者がSNSを通して「#whomademyclothes (私の服は誰が作ったの?)」と問いかけるムーブメントに発展しました。その後、4月24日を含む1週間は「FASHION REVOLUTION WEEK」とされ、生産過程の透明化の重要性を訴えるイベントが世界各地で開催されています。

聖学院大学学長 清水正之

サステナビリティ推進センター所長 西海洋志



Masayuki Shimizu



Hiroshi Wachiaka



FASHIONREVOLUTIONJAPAN

@fashionrevolutionjapan



講演者プロフィール

仲村和代

kazuyo nakamura

朝日新聞社デジタル機動報道部次長。1979年、広島市生まれ。沖縄ルーツの転勤族で、これまで暮らした都市は10以上。2002年、朝日新聞社入社。長崎総局、西部報道センターなどを経て2010年から東京本社社会部。著書に、藤田さつき氏(朝日新聞オピニオン編集部次長)との共著『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』(光文社新書 2019年)、『ルポ コールセンター 過剰サービス労働の現場から』(朝日新聞出版 2015年)、取材班の出版物として『孤族の国 ひとりがつながる時代へ』(朝日新聞出版 2012年)がある。



Petite Arche

(プチ・アルシュ)

2020年に発足した聖学院大学の学生有志団体。SDGsを“自分ごと”として捉え、学生目線で様々な活動に取り組んでいる。団体名は“小さな方舟”を意味しており、ノアの方舟のように「誰一人取り残さない」というSDGsの考える世界へ最初の一歩を踏み出すという意志に由来する。



【問い合わせ先】 聖学院大学サステナビリティ推進センター (SSC) 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
TEL: 048-781-0079 MAIL: sustainability@seigakuin-univ.ac.jp